

深圳市三米智能有限公司

物料名称

妙控板-说明书

材质工艺

105克金东太空梭哑粉纸

专色印刷

PANTONE Cool Gray 11C

版本号	修改时间	修改内容
V1.0	2025.02.11	创建文档

[illegible]

修改记录


POLARMETA

多機能ジェスチャートラックパッド取扱説明書

【特別にセンド】
Bluetooth接続モードをサポートしていません。USBシリアルまたはデータケーブル接続モードのみをサポートしています。

一方、白黒使用に人間の顔を認識する場合は、この保証書と有効なAndroidシステムのユーザーは、F1X側に切り替えるには、ボタンを押すには、ディスプレイの機能は、Appleのサポートサービス、MacOSシステムは、Androidシステムのジェスチャートラックパッド機能をサポートしていません。

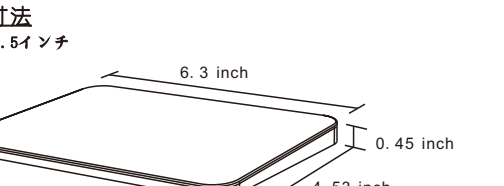
インジケータランプ
Type-c



MAC off WINDOWS

機械全体の寸法

パネルサイズ: 7.5インチ



マシン全体のサイズは手動で測定され、現物でエラーがある場合は、優先されるものとします！

製品リスト

- 多機能ジェスチャートラックパッド
- シノブシス
- USBシリアル
- アダプター (Type-C to USB-A)

多機能ジェスチャートラックパッドへようこそ

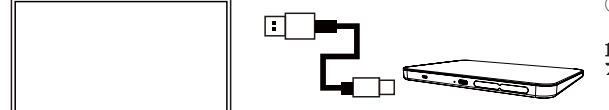

多機能ジェスチャートラックパッド。本製品はUSB4.4レシーバー/Type-Cデータケーブルが添付されています。コンピュータとの接続にはUSB4.4シリアルまたはデータケーブルをご使用ください。

シリアルバージョン要件

多機能ジェスチャートラックパッド。本製品はUSB4.4レシーバー/Type-Cデータケーブルが添付されています。コンピュータとの接続にはUSB4.4シリアルまたはデータケーブルをご使用ください。

マルチジェスチャートラックパッドをMacに接続する

マルチジェスチャートラックパッドをMacに接続するには、付属のUSB4.4シリアルを使用してMacホストコンピュータに接続します（左側のスイッチ）/または、Type-CケーブルをトラックパッドのType-Cポートに差し込み、もう一方をMacポートに差し込みます。

MAC off WINDOWS

マルチジェスチャートラックパッドの使用

マルチジェスチャートラックパッドには、マウスポインタを動かしたり、ジェスチャーを実行するためのForceTouchセンサーがあります。ジェスチャーを設定し、その他のオプションを設定するには、Appleメニュー（システム設定）を開きます。マルチジェスチャートラックパッドのジェスチャーを実行したりするには、マルチジェスチャートラックパッドの上に手を置いて、その表面を指で滑らせることができます。

ご使用前に説明書をよくお読みください。

MACジェスチャー設定手順

- システム設定を開きます。
- トラックパッドを有効にします。
- カーソルとタップを有効にする。
- クリックして「スクロールズーム」を設定する。
- 「その他のジェスチャー」をクリックする。

ドラッグとドロップを有効にするには、「ドラッグとドロップを有効にする」をクリックします：

- 「システム設定」を開き、「アクセシビリティ」をクリックします。
- ボタンのコントロール、トラックパッドオプション、トラックパッド、ドラッグを有効にする。
- ドラッグスタイルで「3本指でドラッグする」を選択し、「確認」をクリックします。

Windowsジェスチャー設定手順

WindowsシステムはUSBレシーバー/ケーブルのどちらでも接続できます。

- USB接続：スイッチを右に切り替え、レシーバーをコンピュータに挿入してください。
- 有線接続：スイッチを右に切り替え、データケーブルを挿入してください。

10分以上スタンバイした後、本製品を使用するためにウェイクアップを押す必要があります。

MACトラックパッドジェスチャーの説明

ワンフィンガー・オペレーション

- ファイルを開く
一本指ダブルクリック
- 2本指での操作
- ページをめくる
上下はスワイプ
- ページの切り替え
左右はスワイプ
- 通知センターを表示
図から左にスワイプ
- ズームイン
ダブルスワイプでズームアウト

Windowsトラックパッドジェスチャーの説明

- タスク
1本指タップ
- ファイルをドラッグする
指でダブルクリック
- セカンダリタスク
(右クリックタスク)
二本指でのクリックまたはタップ
- スクロール
二本指スワイプで上下左右
- ズーム
ピンチ

製品保証書

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。一方、白黒使用に人間の顔を認識する場合は、この保証書と有効なAndroidシステムのユーザーは、F1X側に切り替えるには、ボタンを押すには、ディスプレイの機能は、Appleのサポートサービス、MacOSシステムは、Androidシステムのジェスチャートラックパッド機能をサポートしていません。

- 品質検査に付いた不具合による故障、破損、落下、折り曲げ、その他の損傷による修理費（製造現場に付いた不具合を除く）など、人為的要因による故障。
- 私的な分解・修理・改造、または特殊な保守現場以外の保守に起因する故障。
- 製品保証書および購入証明書をご提示いただけない場合。
- 購入記録や製品情報が人為的に書き換えられた場合。
- 製品保証期間を過ぎた場合。

製品モデル	ユーザー名	連絡先電話番号	購入時間	販売店印
住所				

(注：ユーザーが製品の工場出荷日に購入日を証明するものも提供しない場合は、それが優先されるものとします)

適合証明書

この製品は品質検査に合格しています。

適合証明書

品質検査番号: 01

中国製

This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Any changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

NOTE: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation.

If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

The device has been evaluated to meet general RF exposure requirement. The device can be used in portable exposure condition without restriction